

満州事変
肥薩線八代―坂本間に県内初の無人駅「段駅」開設
熊本市の千徳百貨店に県内初のエレベーター設置
熊本大演習、天皇地方行幸、熊本市の目抜き通りを舗装。

五・一五事件
熊本城国宝に指定
熊本―アメリカ間の国際電話開始

新興熊本大博覧会開催(入場者一〇五、八万人)
県下初の外国定期航路、三角港―大連間に開設

二・二六事件
熊本市の映画館「世界館」に県内初の冷暖房装置

日中戦争勃発

太平洋戦争勃発

日本食堂熊本営業所は下り急行で一日七〇個(二個四〇銭)の弁当を熊本駅で販売開始

ポツダム宣言受諾

日本国憲法発布

豊野村に県下初の農協開設
熊本で初のプロ野球試合行われる(巨人―阪急戦)

県下各地で初の成人式
白バイ、レントゲン車が登場する

朝鮮戦争勃発
NHKテレビ列車が熊本市で初公開
初めて見るテレビに人々はビックリ

県内初のゴルフ場、阿蘇にオープン

六・二六水害

甘夏みかん初登場

五家荘に初めて電灯がともる

県下初のジャージー種乳牛導入 オーストラリアから98頭、小国町が受け入れ

県内で初めてテレビ本放送を開始

熊本空港(健軍)開港 熊本―東京間五時間一五分
第一五回 熊本国体開催

第一八回 東京オリンピック開催
県内でカラーテレビ放送開始

国鉄鹿児島本線電化の一番特急「つばめ」が熊本駅をスタート
西日本初の森林博物館が監物台植物園内に完成

天草五橋開通

大阪で万国博覧会開催

新空港オープン はじめてのジェット定期便
全国七縦貫道のトップを切って、九州自動車道植木―熊本間が開通

大洋デパート火災

国鉄高森線の九州最後のSL引退
沖縄海洋博覧会開催

人吉ループ橋開通

西日本一の規模を誇る熊本博物館開館
九州で初めて県内の電話一〇〇%自動化

阿蘇に県内初のペンション村ができる
日本で初めての肉食恐竜の化石を発見(御船町)

日本初の公開天文台熊本県民天文台開設

NTTのキャブテンサービス開始

二階建てバス、熊本駅―菊池駅間を走り始める

はじめての県民文化祭開催

現在、県内の人口一八四万八千人



■映画上映の先進地

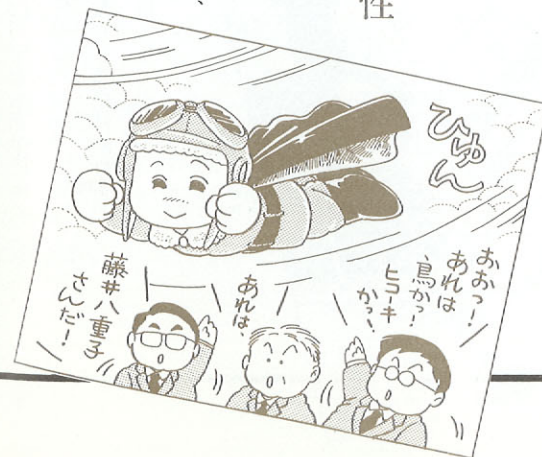
熊本は映画先進地だった。明治44年に電気館がオープン。この常設館ができるまでは、映写巡業隊が活躍していたという。高い木戸銭にも関わらず、連日大入り。中には、スクリーンの裏に仕掛けがあるのではないかと、裏側を調べる者まで出たほど。その後、世界館、相撲館など次々に新しい映画館がオープン。当時は、楽団の演奏に合わせて、声色弁士が名調子を聞かせていた。弁士の語りに涙し、伴奏音楽に酔い、カフェでコーヒーを啜る……それが、当時のハイカラさんたちの習いだったという。

昭和4年、朝日館にトーキーが登場。カラー作品上映は、それから22年後、昭和26年のこととなる。大衆娯楽の殿堂として、多くの人々に夢とロマンを与え続けた映画館。ピーク時には県下で実に147館もあったという。

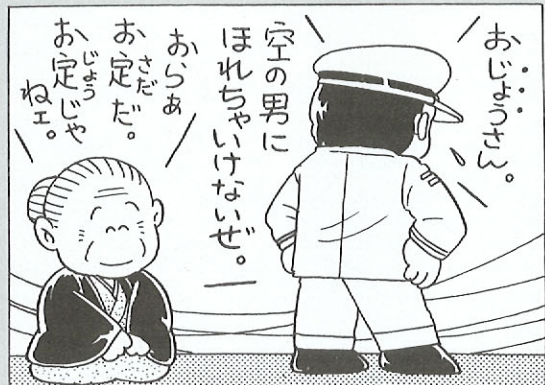
■大空を

翔けた熊本女性

昭和2年、九州初の女流飛行家が誕生した。藤井八重子さんは熊本の女性である。当時の手紙に彼女はこう記している。



「飛行家になったのは、虚栄心からでも、名を後世に残したかったからでもありません。ただ幼い日から抱いていた宿願を達成しただけのことなのです。」と。



昭和35年 熊本空港開港(健軍空港)



■はじめて電波が届いた日

「JOGK、JOGK、こちらは熊本放送局」

昭和3年6月16日午前11時。市の公会堂周辺に置かれた5×6尺もある大きなスピーカーから、声流れ始めた。ワーンと喚声がある。「すこかどができたばいね」ラジオ機を背負った、牛のラジオ珍行列が市内を練り歩いたり、すっかりラジオ気分一色。こうして、ラジオは驚きと歓喜をもって迎えられたのである。この5年後には九州全体で聴取者も40倍の7万8千人近くに膨れ上がり、急速な勢いで普及していくことになる。



昭和63年 県民文化祭始まる